

令和6年度 富良野市市民参加制度調査審議会 議事録（要点筆記）

日時 令和7年1月29日（水）11:00～11:40

場所 富良野市文化会館 会議室 A

1. 開会

（委員）

2. 会長挨拶（荏原会長）

出前講座でごみの分別については、どのような団体が申し込んでいますか。

3. 委員紹介

（事務局）

4. 議事（議長：荏原会長）

令和5年度は学校の授業で申し込みがありました。

（委員）

市民の声の実施状況についてどのような内容があったのか把握していますか。また、どのような内容がありましたか。

（委員）

他の自治体では、リサイクルについて地元住民への理解度がすすんでいないとも聞いたことがあります。富良野市の取り組みを出前講座通じて広めていくにはどうしたらいいのか。

（事務局）

市民の声については、内容も含めて把握しています。令和5年度では、「冬場にスパイク付の靴で来庁した際に、床を傷つけないよう靴を履き替えたいので、玄関に椅子を設置してほしい」「クリニックの閉院に伴う医療体制について」「除雪体制について」などの声がありました。

（委員）

分別方法などは市民には浸透しているが、分別したものがどのようにリサイクルされているのかお知らせしていくことが必要。

（委員）

出前講座を団体で利用させていただきました。防災について話を聞きましたが、準備や知識の必要性がわかりました。

（委員）

ふらの環境会議では、施設見学会で分別処理をしている施設を見学したりもしています。今後も継続していかなければいけないところです。

（委員）

天災だけではなく、火事も多いので、どのような対策や対応が必要なのか学ぶ機会が必要だと思いました。このように市に対して意見を言う機会や出前講座などの機会をもっとスムーズにできるようにするのがこの審議会の役割だとも思うので、各団体でも開催などを推進していただきたいと思います。

（委員）

令和5年度、令和6年度の出前講座で防災に関するものが多いのは、ニュースなどを通じて、防災に対する意識が高まっていると思います。

5. 閉会